

魚津の蜃気楼の現状・魚津蜃気楼研究会の課題について

魚津蜃気楼研究会 野村英樹

1. 魚津蜃気楼研究会とは

魚津蜃気楼研究会は 昨年、創設30周年を迎えた。
会員30名（4月1日時点）

2. 魚津の蜃気楼の現状

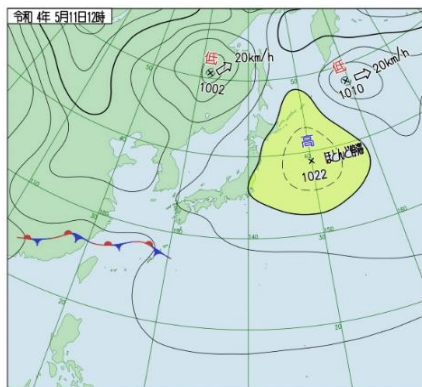
1 2022年度 蜃気楼発生回数 41回（歴代2位）

| ランク | A | B | C | D | E |
|-----|---|---|---|----|----|
| 回数 | 0 | 2 | 7 | 14 | 18 |

2 観光客の人数 蜃気楼パンフレット10000部 + 4000部追加が無くなった

3. 魚津の蜃気楼の発生について

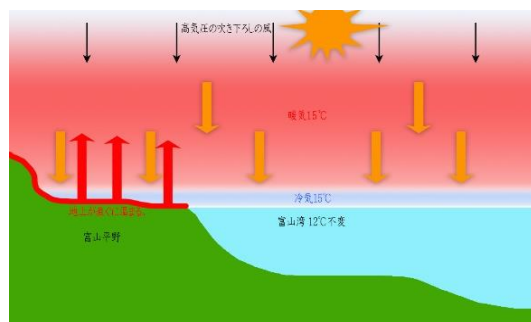
1 高気圧の位置は絶対的



蜃気楼の発生には高気圧が日本の近くに必要となる。

2022年度の蜃気楼発生時の気圧配置をパラパラ漫画にしてみた。

2 魚津の蜃気楼、メカニズムの考察 アニメーション



魚津の蜃気楼の発生メカニズムを、今までの現地で感じた事や気象データで調べてみたことをアニメーションでまとめた。

4. 魚津の蜃気楼の動画を視聴

珍しい変化や定番の変化まで
魚津を代表する富山湾の蜃気楼を見てもらう

4. 魚津蜃気楼研究会の課題

- ・ 現場で行っている蜃気楼の説明・解説者・カメラマンが減少中。
- ・ 過去には「蜃気楼写真」などは報道などにとっても貴重であったが、現在ではライブカメラで見えるし・各社が撮影できる状況である。
- ・ 蜃気楼の解説も、研究会でなくとも「しんきろう見させ隊」が行っている。
- ・ 上記を踏まえ、魚津蜃気楼研究会の存在意義が無くなりつつある。

5. 魚津蜃気楼研究会の取り組み（令和5年度）

1 蜃気楼・研究会の認知度を上げる

| | 具体的な取り組み内容 | 実施 |
|---|--------------------------------|----|
| 1 | 研究会のPR動画作成 | ○ |
| 2 | 地元CATVに研究会の募集案内を放送する | ◎ |
| 3 | TV局に蜃気楼の取材を申し込む | ○ |
| 4 | 県内・市内の観光地や土産物売り場でパンフレット設置 | ○ |
| 5 | 魚津市の公報に会員募集案内を掲示してもらう | ◎ |
| 6 | TickTockに動画投稿（Youtubeは以前から投稿中） | ◎ |

2 海の駅での蜃気楼説明

| | 具体的な取り組み内容 | 実施 |
|---|------------------------------|------|
| 1 | 他と違った身なりは出来ないか？（衣装・Tシャツetc） | 費用発生 |
| 2 | 蜃気楼見に来た記念 → 蜃気楼スタンプ（パンフレットに） | 費用発生 |
| 3 | 屋外でも使える「タフブック」で動画・もしくは3Dゴーグル | 費用発生 |
| 4 | アンケートに答えて頂くと記念品がもらえる | 費用発生 |
| 5 | 蜃気楼をスマホで気軽に撮影（スマホ取り付け望遠レンズ） | 費用発生 |
| 6 | 蜃気楼パンフレットは毎年継続していく。 | ◎ |

3 研究会独自のイベント

- 1 蜃気楼写真展
- 2 令和5年度 魚津埋没林博物館内 イルミネーションイベント

6. 魚津の蜃気楼観測を伝承し続けて行く為に

- 1 お年寄りにやさしく観測できる環境づくり
 - ・ 護岸が高くて見え難い。
 - ・ 座って見える環境づくり

6. まとめ

日本蜃気楼協議会の全会員が取り組んでいる蜃気楼研究ではあるが、魚津に蜃気楼を見に来る人はほとんどいないのが現状。蜃気楼の魅力を伝えて認知度を上げて行く取り組みが必要と考える。